



# ほほえみ

# 大竹市社協だより・大竹市民児協だより合併号

2022.1.1  
(令和4年1月1日)

# 第191号



# 令和四年 迎春



# 御園新陽台陽光会サロンの皆さん

今年の寅年みんないいえ笑ガオー！



# ふれあいネットワーク

愛ちゃんと希望くん



この広報紙は共同募金（赤い羽根）配分金を受けて発行しています。

## 新年のごあいさつ

大竹市社会福祉協議会

会長 西尾 裕次



あけましておめでとしいでございます。

「コロナ禍」で迎える「一度目の新春」となります。

今年こそは、当たり前の生活や、ささやかな希望の叶えられる良い年となりますよう祈念申し上げます。

また、いつも大竹市社会福祉協議会の運営にご理解、ご支援を賜り深く感謝申し上げます。

昨年は、夏に第5波が到来して、国内での「コロナ感染者」が爆発的に拡大し、広島県もの毎いつぱい緊急事態宣言が発出されました。そうした影響を受けて、夏から秋にかけて予定されていた、大竹市社会福祉協議会の「大竹ふれあい健康・福祉まつり」を含む各種事業が中止、もしくは規模縮小を余儀なくされました。市民の皆様方には、ご労働やご迷惑をおかけいたしました。

緊急事態宣言解除後の全国の感染状況は急速に改善されており、紅葉の有名な観光地や繁華街など人出が多く繰り出したようです。

しかし、政府の専門家会議や医療関係者は、第6波は必ずやつてくるとの認識で、そのための対応を急ぎ調整していくような状況です。「コロナ感染対策」については、引き続き「密を避け、手指消毒や手洗い」うがいは続けていきましょう。

今年も、大竹市社会福祉協議会では皆様方の生活に密着した活動に専念して、「安心・安全で住みたい、住んで良かつたと感じる福祉のまちづくり」をめざします。

皆様のご支援、ご協力を心からお願い申し上げますとともに、本年が皆様方にとりまして幸多い年となりますよう、心からお祈り申し上げ新年のごあいさついたします。

## 赤い羽根共同募金

ご協力ありがとうございます。

令和3年12月1日現在

募金総額

4,008,948円

**戸別募金** 自治会の協力により、一世帯あたり500円の寄付をお願いしています。

**法人募金** 企業、法人を中心にお願いしています。

**街頭募金** 10月1日に、ゆめタウン大竹 ゆめマート西栄、コメリパワー大竹店にて大竹市共同募金委員会委員、社協関係者、福祉関係団体、中学校生徒会の協力により募金活動を行いました。

**職域募金** 公共施設などに募金箱を設置し、協力をいただいています。

**学校募金** 福祉教育の一環として、生徒会・児童会を通して、募金活動をしていただいている。

※11月号に掲載していました赤い羽根×カープ

コラボグッズは職域募金を対象にしています。



大竹市共同募金委員会事務局

地域福祉係内 TEL 52-2275

# NAKAMA会 活動報告



大竹市心身障害児・者手をつなぐ育成会  
本人部会「NAKAMA会」

## 学習会「私たちの将来について考えてみよう」

令和3年10月24日(日)10時よりサントピア大竹で、おおたけ松美園 陽(HARU)施設長の平岡龍一郎さんに講師をお願いして、将来の生活について考えたり、話し合ったりしました。

保護者と離れてグループワークをし、代表者が発表しました。

### 《発表の内容》



本 人

- ショートステイを利用している。最初は緊張したけど楽しかった。
- ずっと家で暮らしたいけど、年をとるのが不安。
- 片付けられない。ゴミを出し忘れてしまう。
- お金の管理ができない。だからグループホームを考えている。
- 仲間と楽しく料理などしたいなと思う。



保 護 者

- 身の回りのことはほぼ親がやっている。
- どうやって親離れ、子離れしていくか考えないと後で困る。
- 本人と地域の関係をつくっておくことが大切。
- 親が障害がある我が子を心配して守るのではなく、本人の自立に向けて、今何ができるか考えて生活を見直したい。



### 《感 想》

講 師

障害を抱えている当事者の方は、見えない先(未来)の生活を想い描くことに難しさがあります。見えない未来を見る将来に映し出すこと、また、想い描けるよう支援することが、私たちの役目であり使命です。そのためには支援者、家族、行政が一体となり、共通した目標を掲げて、将来へ導いてあげることが必要であると思います。

本 人

わかりやすい話もあったけど、よくわからない話もあった。  
また学ぶ機会があれば参加します。

保 護 者

将来の準備として、グループホームの見学や体験をしていくことも大切だと思いました。

**学習会のあと、ふんわりグライダーを作って、みんなで飛ばして楽しみました。**



だれのグライダーが1番遠くに飛んだかな？





の『月刊』の表紙を飾った「カレーの会」の企画を取材しました。

広島県全域に緊急事態宣言が発令され、活動を休止していた「カレーの会」でしたが、10月15日（金）中央幼稚園交流広場に、のぼりが久しぶりに立ち上りました。

スタッフと参加者の検温や手指消毒、パーテーションの活用など、感染対策を徹底しての開催です。

この時のカレーのトップソングは、「かぼちゃとなすび!! あじもたちは、野菜がたくさん入ったカレーを「熱いけどおいしいね」と喜びながら食べていただきました。

コロナ禍では思うように活動できない場面もありますが、子どもたちの笑顔のために、工夫しながら活動を続けていきます。

**地域のつながりをコロナで絶やさない！  
絵でがみを使つた世代間交流の取り組み**

1月号で「」紹介した絵でがみを使った世代間交流のその後を紹介します。

「ゆうあい福祉会」のおじいちゃん・おばあちゃんからの残暑見舞いのはがきをもらつた市内保育所の子どもたち。はがきを書いたり、田にしたりする機会があまりないので、一生懸命取り組み、はがきに「サンマ」「栗」「コスモス」など秋にちなんだものを描いてくれました。

はがきを受け取つたおじいちゃん・おばあちゃんからは、「孫からもりつたみたいでとてもうれしい。来年もやりたいね」との声をいただきました。

コロナ禍の影響を受け、直接交流することができ難しい世の中だからこそ、今後もこのような取り組みを続けていきたいと思います。



〈問い合わせ先〉  
地域福祉課 TEL 52-2275

〈問い合わせ先〉  
総務課 TEL 53-8120



Part2



## 「高齢者に寄り添う福祉の仕事の魅力を伝える」 ～次代を担う若手へのインタビュー～



今年度の介護の日は、「介護業界の担い手不足の課題」にスポットを当て、ちゅびCOMで放映中の「おおたけ優男（やさお）が行く！」で、2～4年目の社協職員にインタビューを行いました。

みなさん放映はご覧いただけたでしょうか。放映をおとして、介護・福祉の魅力が伝わったのではないかと思います。職員からは「さまざまな人と会えることが魅力。チームでその人に合った支援を考えているときにやりがいを感じる」との声を聞くことができました。

ここでは、10月8日（金）にちゅびCOMの取材を受けた様子を紹介します。



どちらも社協に入職して3年目です！！！  
それぞれの部署で仲間と協力し、  
やりがいを感じながら仕事をしています♪

ヘルパーを始めて2年目と4年目です！！！  
利用者の方それぞれの生活にあった支援  
をしています 😊





**【放送案内】**

放送局：ケーブルテレビ  
ちゅびCOM(11チャンネル)  
放送日：毎月隔週放送  
(第1週・第3週の月曜日から  
日曜日)8時30分から8時40  
分と15時30分から15時40分



介護・福祉は魅力あふれる仕事です!!  
みなさんと会えることを  
楽しみにしています!!

### おおたけ ししょう しゃ そだん しえん 大竹市障がい者相談支援センター

大竹市障がい者相談支援センターでは、障がいのある方や障がいのある児童・ご家族・関係者などから地域にある身近な相談窓口として、生活に関する様々な相談を受け付けています。必要に応じて福祉サービスの利用計画の作成も行います。

また障がいのある方に対する虐待の防止や、早期発見のための関係機関との連絡調整、権利擁護（権利を守ること）のための支援を行っています。

※事務所が「サントピア大竹」2階から1階に移りました。  
またFAX番号が変更になりました。

(お問い合わせ先)

**TEL: 52-0167 FAX: 53-8122**  
**MAIL: soudan@otake-shakyo.or.jp**



## 有料在宅福祉サービス「ほほえみネット」 協力員養成講座を開催します！

有料在宅福祉サービス「ほほえみネット」とは、会員方式の有償ボランティア事業です。福祉サービスを必要としている方の日常生活（掃除・洗濯・話し相手等）をお手伝いしてみませんか？

**日 時**: 令和4年1月25日(火) 13:30~15:00

**場 所**: サントピア大竹 2階会議室

**内 容**: ①有料在宅福祉サービスについて

②介護予防・生活予防支援総合事業について

**対象者**: 大竹市在住・在勤の方

**参加費**: 無料

**申 込**: 1月21日(金)締切 地域福祉係(Tel: 52-2275)まで



## 貸付期間が3月31日まで延長されています。 生活福祉資金特例貸付のご案内

新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、休業や失業などにより生活資金でお悩みの方に、特例の貸付を実施しています。

### 休業等された方へ 緊急小口資金

貸付対象 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、休業等により収入の減少があり、緊急かつ一時的な生計維持のための貸付を必要とする世帯  
貸付限度額…………… 貸付利子・保証人……………  
原則、一世帯につき一回10万円 無利子・保証人不要  
(条件により一世帯につき20万円)

### 失業等された方へ 総合支援資金

貸付対象 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入の減少や失業等により生活に困窮し、日常生活の維持が困難となっている世帯  
貸付限度額…………… 貸付利子・保証人……………  
単身世帯: 月15万円以内 無利子・保証人不要  
2人以上世帯: 月20万円以内

原則、自立相談支援事業等による継続的な支援を受けることが要件となります。

各貸付には、その他一定の条件があります。まずは、ご相談ください。

※総合支援資金(再貸付)は、令和3年12月末で終了しました。

申し込みに必要な物

#### ●共通で必要な書類

- ・減収や失業等の状況が確認できるもの(給与明細、通帳、離職票、廃業届など)
- ・申込者本人名義の預金通帳、またはキャッシュカード ※ネット銀行除く
- ・印鑑



#### ●緊急小口資金

- ・本人確認書類(運転免許証、健康保険証、住民票、障害者手帳など)

#### ●総合支援資金

- ・住民票(世帯全員分)/本人確認書類(運転免許証、健康保険証、住民票、障害者手帳など)

詳しくはこちら

相談受付窓口

地域福祉課(よりそいサポートセンター) TEL 35-5300

# こんにちは！大竹市地域包括支援センターです。



社協だより「ほほえみ」9月号で募集しました介護川柳に多数応募いただきありがとうございます。応募総数 一般の部 74名、子どもの部 1,014作品の中から、各部門の入賞作品が決まりましたので、発表いたします。

**掲示期間延長しました!!**

## 介護川柳

選者 梶島 岩雄 さん  
(大竹市川柳会副会長)

### 【一般の部】

ちよつとした

家事担う

車椅子

百才も

転ばぬよう

老老介護

病床を

ウエブで会う

初めての

コロナ禍の

度に小さく

介護ベットに

面会胸に

にわいじり

めざしたい

おはようと

少しあね

げんきかな

介ごされ

マスクごし

高齢者

優しさは

助け合い

段差に添える  
夫の手つきも

ゆっくり押して

介護の風呂は

母に寄り添う

思えば長い

孫らが囲む

度に小さく

介護ベットに

面会胸に

手の温み  
慣れて来て

語りかけ

三才児

夫婦愛

散歩道

日曜日

なつた母

寝息立つ

つまる声

山岡 俊子  
浅田 華蓮  
大知 登喜子

郡司 榮

高橋 美智子

稲垣 洋苗

山本 怜子

崎 健一

上野 由加里

小花 光志

嶋田 洋子

津藤 帆乃花

松本 絆愛

巣守 嘉屋

片山 飯守

小田 山口

詩恩 ゆい

じいちゃん  
おさけのみすぎ  
水のみな  
松本 いつ希

(子どもの部)  
大竹市社会福祉協議会  
事務局長賞

仏壇の  
主人に一言  
まだ来るな  
佐伯 節子

(一般の部)  
大竹市地域包括支援センター  
センター長賞

問い合わせ:大竹市地域包括支援センター TEL53-1165

入賞者の方には、表彰状と賞品を送付させていただきます。  
なお、入賞作品はサントピア大竹館内に1月31日(月)まで掲示しております。

# 阿多田保育園

## 11月20日 発表会

こどもたちが、おともだちと一緒に作り上げた作品、  
劇「あかずきんちゃん」  
踊り「シャッターチャンス」

練習中は言葉のやり取りを楽しむ経験や、コツコツと取り組み達成感を味わう経験を日々積み重ね、みんなの前で一生懸命披露することができました。



大竹市阿多田403-9  
TEL 53-7062



劇「あかずきんちゃん」



踊り「シャッターチャンス」

## 大竹市社会福祉協議会での前期実習を終えて

私は今回の実習で、社協がどのような福祉活動をしているのか、住民が安心して暮らせるまちづくりには何が必要なのかを知ることができました。実習を通して、もっと社協の活動を広めたい、知つてもらいたいという気持ちが強くなりました。社協は見えるサービスもあれば、見えないサービスであっても必ずどこかで地域とつながっており、社協の活動が地域住民のみなさんの暮らしを守っているのだと学ぶことができました。

困り事がある人だけではなく、地域住民一人一人に目を向け耳を傾け、大竹市がより良い街になるよう、地域住民さんが安心して大竹市で暮らせるよう、日々考え続けている大竹市社協の職員さんの姿に感銘を受けました。私も大竹市社協の職員さんのように、「この人に相談しよう」と信頼される支援者になりたいと改めて感じました。

今回の実習は、職員さん、地域住民みなさんのおかげで充実した実習をすることができました。素敵な出会いにとても感謝しています。コロナ禍にも関わらず私たち実習生をあたたかく受け入れてくださり本当にありがとうございました。

広島文教大学 3年 斎藤 弥生

大竹市社協へ実習に行かせていただき、住民同士の、また社協職員と地域住民との連携を目の当たりにし、大竹市の地域のつながりの強さを感じました。

社協が掲げている「誰もが安心して暮らせるまちづくり」を行うためには、見守り活動等、地域住民の存在が必要不可欠であり、住民の協力の上で成り立っているのだと学ぶことができました。

そして、様々な機関と連携を取りながら、住民のことを第一に考え、日々業務に取り組んでおられる職員の方々の姿が印象的でした。その姿から、誰かの役に立つために働く福祉分野の魅力をさらに感じました。

また、サロンで活動されている方々は明るく、楽しんでおられる方ばかりで、その場にいると、私も自然と笑顔になりました。これから、さらに広まり一人でも多くの方に参加していただければ良いなと感じます。地域住民の皆さんを持つているパワーが、地域全体を盛り上げていくことにつながるのだと気づきました。

コロナ禍の中、私たち実習生を温かく受け入れてくださり、ありがとうございました。実習での経験を将来に活かし、役立てていきます。

広島文教大学 3年 砂田美羽



# 「ぷらっとほーむ」

【ほほえみ】をご覧になっている皆さま  
あけましておめでとうございます。  
昨年中はいろいろとお世話になり誠に  
ありがとうございました。  
今年もよろしくお願ひいたします。



それにしても、新型コロナウイルス感染症はいつまで居座るつもりでしょう？  
「お花見はいつするの？」、「ボウリング大会は、まだ？」、「宿泊研修の日にちは、決まったん？」  
という利用者の声を聞くことも少なくなりました。

さあ！今年こそは、いろいろな行事も行い、コロナになんか負けず、毎日が楽しく過ごせるよう、みんなで頑張りましょうね。

## 活動紹介



ぷらっとほーむでは今年度からEMばかしの作成をはじめました。利用者と月に20キロ程度製造しております。

EMボカシは米ぬか、もみ殻の中で善玉菌が増えたもので、生ごみに振りかけて発酵させることで良質な堆肥になります。

現在、ぷらっとほーむと市役所環境整備課で、一袋200円で発売中です！！  
※数に限りがありますので事前にお問い合わせください。



◎EM菌、糖蜜、ぬか、もみ殻をかき混ぜる様子



◎一袋(1kg)200円で販売中

就労継続支援B型事業所 さつき作業所 TEL 57-3935

就労継続支援B型事業所 アイビー作業所 TEL 35-6655

FAX 35-5758(共通)

大竹市御園二丁目11-15

金一封	齧唯子	村井正雄	南栄一
五万円夫	守正	杉本靖子	
金一封夫	徹生	正木ハツコ	前飯谷
"	母	中村義茂子	新町三
"	夫	榎原直子	
"	夫	凡生	
"	夫	河内恵子	
"	作治	元町二	
"	母	松本榮子	
"	母	油見一	
夫	登喜雄所サニ子	元町四	
裕俊	行美	元町四	
夫	廣兼行男	元町四	
裕久	母	松ヶ原町	
夫	ナル卫新田裕介	本町一	
聰久	母	本町一	
二階堂正子	母	本町一	
本町一	母	本町一	
和子	母	本町一	
松下	母	本町一	
和子	母	本町一	
栗菜一	母	本町一	

◆香典返しにかえて

皆様がいろいろなご意見を頂いたので、お詫びと改進の意味で、本年より、福  
祉のまちづくりのために、有効に活  
用させていただきます。  
トトロに、お名前を掲載させていた  
だきましたとともに、謹んで厚くお礼  
申し上げます。(敬称略)

令和3年11月30日まで

あたたかいご寄付  
ありがとうございます

◆一般寄付

東南アジアの子どもを

## 就学させるため

一万六千円  
山口県東部ヤクルト販売株式会社  
代表取締役 山本 公總  
第44回福祉やくるト寄付金として



# ヘルパー実技講習会開催

私たちと一緒にヘルパーとして働いてみませんか？  
資格を持っているけど、ヘルパーとして働くには不安だなと思っている方。ぜひこの機会に現場復帰してみませんか。他の仕事とのWワークも可能です。

**実施場所** 大竹市総合福祉センター サントピア大竹  
(大竹市西栄一丁目4-1)

**対象者** 大竹市近郊在住の有資格者  
(ホームヘルパー2級、介護職員初任者研修等)

講義內容

- ①生活支援の内容～訪問介護サービスのグレーゾーン～
  - ②身体介護の内容～体の向きを指一本で変えてみよう～

**講 師** 大竹市社協訪問介護事業所 職員  
**開 催 日** 2月14日(月)～2月19日(土)のうち、  
希望される2日間を講習日といたします。講習時間につ

いてはいずれも

**定 員** 5名  
**申込期限** 2月9日（水）までにお願いします。  
受講料につきましては無料です。

申込・問い合わせ先

訪問介護事業所（担当 和田） 052-2227

相 論 密 口

事業名	とき	時間
司法書士による相談(要予約)	毎月第3木曜日 (祝日休み)	13時00分～ 16時00分
よりそいサポートセンター	月～金 (祝日休み)	9時00分～ 17時00分
障がい者相談支援センター	月～金 (祝日休み)	8時30分～ 17時15分
地域包括支援センター	月～金 (祝日休み)	8時30分～ 17時15分

学习会

事業名	とき	時間
手話「さつき」	毎月第2・4火曜日	19時00分～ 20時30分
手話「ママとKAMEの会」	毎月第1・3木曜日	10時00分～ 12時00分
手話「ぽぽんた」	毎月第2・4月曜日	10時00分～ 15時00分
点字「あけぼの」	①月初め(広報等の点訳) ②第3土曜日(勉強会)	9時30分～ 9時30分～ 11時30分
「あけぼの」音訳	毎月第2・4金曜日	10時00分～ 12時00分
要約筆記「ふたば」	毎月第1・3土曜日	13時00分～ 15時00分

定例的な事業

事業名	とき	時間	内容
子育てサロン 「すこやか」	毎週水曜日	10時00分～ 12時00分	親子同士がふれあう 憩いの場です。
認知症の人との集い 「やすらぎの家」	毎週水曜日	10時00分～ 15時00分	認知症の人が集う憩 いの場です。
ソーシャルクラブ 「青空」	毎月一回	10時00分～ 14時00分	心の病気をお持ちの 方が一緒に過ごす憩 いの場です。
サークル「憩い」	毎月 第4木曜日	10時00分～ 14時00分	精神障がいをお持ち の方が楽しく集える 場所です。
ひきこもり支援	毎月 第4火曜日	10時00分～ 11時30分	ひきこもりの方が過 ごす場、家族同士の ふれあいの場です。

申込み・問い合わせはいずれも 大竹市社会福祉協議会

**TEL 52-2211 FAX 53-8122**

編集発行: 大竹市社会福祉協議会(大竹市西栄二丁目4番1号 大竹市総合福祉センター[サントピア大竹]内)  
メールアドレス([info@otake-shakyo.or.jp](mailto:info@otake-shakyo.or.jp))ホームページ(<http://www.otake-shakyo.or.jp/>)



# 民児協だより

第49号  
大竹市民生委員児童委員協議会  
大竹市西栄2丁目4-1  
TEL 52-2235

新春のごあいさつ



大竹市民生委員  
児童委員協議会  
会長 中原 悅司

よ」とお伝えしました。健康寿命を延ばすことが支援や介護に依存しない生活につながります。

また、近所の見守りをお願いするほど頼りにしていた方が、認知症になつたとあけましておめでたございます。

皆様方におかれましては、明るく希望に満ちたお正月を迎えてられたことお慶び申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染者の国内累計が172万人を超えるなど、今年も引き続き感染防止に気をつけた生活が大切です。

昨年9月に発表された厚生労働省のデータによると、全国の100歳以上の高齢者は、8万6千人余りです。3年後の25

年には5人に1人が認知症となり、高齢化率も増加すると予想されています。大竹市も例外ではなく少子高齢化が進み、独居・孤立・認知症・老老介護等で深刻な問題が起きると予想されます。

たとえば、コロナ禍の中、多くの高齢者が、家から出づれないと語らない日が多いと言われます。お話をした方々には、「マスクをして、お互いに近づかなければ大丈夫です。足腰を弱らせないためにも、家から出て散歩されると良いです



す。あらかじめ各関係部署と調整を図り、大筋の見解を基に当日在詳細確認の質疑応答に終始でき、予定時間内で実りある意見交換ができました。

**主な要望意見の概要は、**

- ① 道路整備、事故多発地點について
- ② 災害時の対応について
- ③ 公共交通について
- ④ 高齢者施策について
- ⑤ 予防て支援について

民生委員児童委員ごとに課題は異なりますが、行政への橋渡し役として、全員で尽力して参ります。皆さんのが理解、ご協力を願って、新年のあいさつと広範囲にわたる内容でした。会の終わりに際し、入山市長より、ねぎらいの言葉をいただき、今後の活動の励み、責任を改めて感じました。

## 大竹市長との意見交換会

9月30日午前、市役所3階大会議室において、市長、副市長、教育長、健康福祉部長等、合せて9名と中原会長他、全理事10名、社協事務局長、民児協事務局の参加にて恒例の意見交換会を実施しました。

この会は民生委員児童委員が日頃の活動で感じたことや地域住民から伺った意見等を行政と共有、要望する会で



## 『こどんにちは赤ちゃん訪問事業』

コロナ禍の状況が少し落ち着き、玖波地区において、久しぶりに赤ちゃん訪問をさせていただきました。

訪問を快諾してくださったお母さんから、「地域の子育て情報などを聞いて、とても参考になりました」と、うれしいお言葉をいただきました。まだまだ制約された日常生活が続きますが、できる限りお母さん方を応援していきたいです。

大竹市との共催による子育て支援「こどんにちは赤ちゃん訪問事業」は、各地区担当の主任児童委員と民生委員児童委員が生後3～4ヶ月の赤ちゃん宅を訪問し、大竹市の子育て情報の提供や子育て相談を行っています。



写真の赤ちゃんは、「征真」くんです。



## 表彰者の紹介

この度、次の方々が多年にわたり民生委員児童委員として福祉活動に貢献された功績により、表彰されました。

### 広島県社会福祉協議会会長表彰



### 全国民生委員児童委員連合会会長表彰



松田 道男さん  
南栄一丁目



所 朋子さん  
元町四丁目



住友 直子さん  
元町三丁目



石田 弘さん  
御園一丁目1、4～6  
御園台



中原 陽子さん  
北栄



福中 久美子さん  
南栄三丁目  
東栄二、三丁目



吉岡 秋美さん  
栗谷町谷和



木下 誠さん  
比作、安条、  
八丁



賀谷 京子さん  
立戸三丁目